

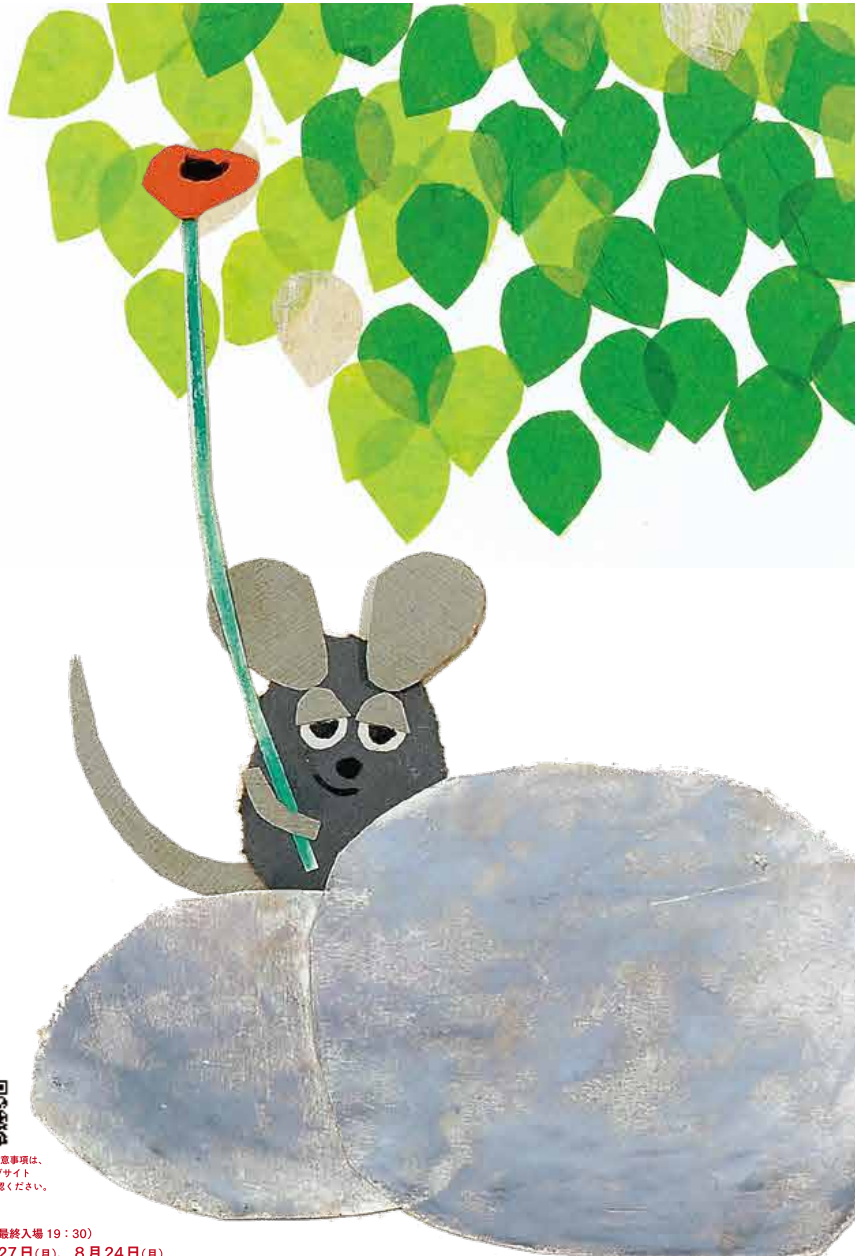
2026.7.11 sat [土] >>>>> 2026.8.30 sun [日]

HIS CIRCLE OF FRIENDS

レオ・レオニと仲間たち

LEO LIONNI AND HIS CIRCLE OF FRIENDS

長崎県美術館 企画展示室



開館時間 10:00 ~ 20:00 (最終入場 19:30)
 休館日 7月13日(月)、7月27日(月)、8月24日(月)
 観覧料 一般 1,400(1,200)円、大学生・70歳以上 1,200(1,000)円、高校生 800(600)円、中学生以下無料

※()内は前売りおよび15名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示および介護者1名は5割優待 ※会期中本展観覧券でコレクション展にも入場できます。※前売券販売期間 2026年5月29日(金)~7月10日(金)

〔前売券販売所〕 チケットぴあ(Pコード996-088)、ローソンチケット(Lコード82646)、セブンチケット(セブンイレブン)、イープラス(eplus.jp)、好文堂書店、紀伊國屋書店 長崎店、メトロ書店 長崎本店、くさの書店トセビア店、長崎県美術館

主催=長崎県美術館、NHK長崎国際テレビ、朝日新聞社 企画協力=Blueandyellow, LLC、コスモマーケティング 特別協力=板橋区立美術館 協力=好学校、あすなろ書房、至光社 後援=長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

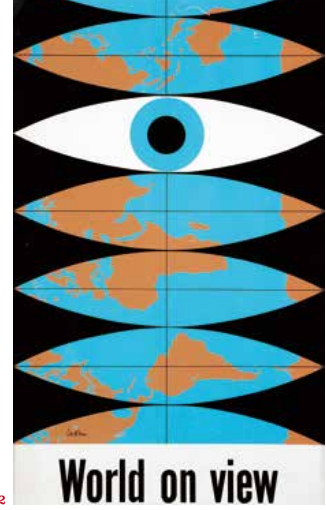
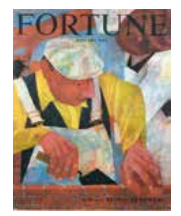
特別協賛= FUJIOKA HOLDINGS 扇精光グループ OUGISEIKO Group

レオ・レオニ「フレデリック」原画 1967年 Frederick ©1967, renewed 1995 by Leo Lionni/Pantheon Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family
 レオ・レオニ「アレクサンダとぜんまいいぬずみ」原画 1969年 by Leo Lionni/Knopf Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family

長崎県美術館
 Nagasaki Prefectural Art Museum

LEO LIONNI AND HIS CIRCLE OF FRIENDS

小さなさかなのお話『スイミー』、青と黄の抽象的な形がストーリーを織りなす物語『あおくんときいろちゃん』。これらは、刊行から60年以上たつてなお愛され続けるレオ・レオニ(Leo Lionni 1910-1999)の絵本です。レオニは、20世紀のイタリアやアメリカにおいて、絵画、デザイン、絵本など多彩な分野で活躍しました。本展は、レオニの生涯にわたる制作活動と、影響関係にあったアーティストたちを併せて紹介するものです。1910年にオランダで生まれ、幼少期から豊かなヨーロッパ文化を享受して成長したレオニは、青年期にはイタリアでブルーノ・ムナリ(Bruno Munari 1907-1998)をはじめとする多くのアーティストや文化人と交流し、影響を与え合いました。1939年にアメリカへと渡り、アートディレクターとして活躍する一方、絵画の制作にも打ち込みます。後半生はイタリアとアメリカを往来しながら画家、彫刻家、そして絵本作家として多数の作品を生みだしました。ヨーロッパとアメリカ、コマーシャルアートとファインアート、さまざまな世界を越境して制作を続けたレオニの活動の全貌を、20世紀の文化史の大きな流れの中から検証します。本展の最終章では絵本原画を多数展示し、30年以上におよぶレオニの絵本づくりの軌跡を振り返ります。



1 ベン・シャーン「フォーチュン」(1951年1月号) 表紙 © Estate of Ben Shahn / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2025 G4022 2 レオ・レオニ「ユネスコ・ポストカード World on view (世界を見わたす)」1952年 板橋区立美術館蔵 (Gift of the Leo Lionni Family, 2021) 3 レオ・レオニ「マッシュのゆめ」原画 1991年 by Leo Lionni/Knopf Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family 4 レオ・レオニ「あおくんときいろちゃん」原画 1973年 by Leo Lionni/Knopf Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family 5 ブルーノ・ムナリ「ムナリのアプソラ」(Corraini Edizioni 1996年) Bruno Munari, La forchette di Munari (Corraini Edizioni 1996) ©1958 Bruno Munari. All rights reserved to Maurizio Corraini s.r.l. 6 レオ・レオニ「想像肖像シリーズ(金髪の婦人)」1963年 板橋区立美術館蔵 (Gift of the Leo Lionni Family, 2021) 7 レオ・レオニ「プロジェクト: 幻想の庭」1978年 板橋区立美術館蔵 (Gift of the Leo Lionni Family, 2021)



連続ワークショップ みんなでつくる「仲間たち」
 レオニは絵本制作において、「モノタイプ」や「コラージュ」など様々な技法や材料を用いました。素材づくりからキャラクターづくりまで、レオニの制作を想像しながら技法を体験してみましょう。

ワークショップ①「モノタイプで色の仲間づくり」
 絵具などで描画したものを刷り取る版画技法「モノタイプ」で、「〇〇みたいな色」や「ふしな色」など、どんな想像が広がるような色の紙をたくさんつくります。

日時: ①7月11日(土) 13:30~15:00
 ②7月12日(日) 10:00~11:30
 ③7月12日(日) 13:30~15:00
 対象: ①②小学生(保護者同伴)、③中学生以上
 定員: 各回20名 ※事前申込制(抽選制)
 料金: 無料
 申込方法: 長崎県美術館ウェブサイト「各種申込」または右の二次元コードよりお申し込みください。
 ※6月27日(土)までに抽選結果をメールにてお知らせします。

ワークショップ②「コラージュで絵本の仲間づくり」
 ワークショップ①でできた色の紙を切ったり、組み合わせたりしてオリジナルキャラクターをつくります。つくったキャラクターは美術館に飾って、お話を考えてみましょう。

日時: 8月1日(土) 10:00~12:00、14:00~16:00
 8月2日(日) 10:00~12:00、14:00~16:00
 対象: 小学生以上(小学生は保護者同伴)
 定員: 各日200名 ※当日受付(最終受付:各回終了の30分前)
 料金: 無料
 所要時間: 30分程度
 ※ワークショップ①②ともに制作したものはお持ち帰りできません。

交通アクセス
 ●路面電車 | 「出島」電停より徒歩3分 | 「メディカルセンター」電停より徒歩2分 ●バス | 「新地中華街」下車徒歩5分 ●JR | JR 長崎駅より徒歩15分 ●フェリー | 長崎港ターミナルより徒歩10分 ●車 | 長崎自動車道・長崎ICよりながさき出島道路経由で約5分 ●提携駐車場 | 美術館内で有料施設(企画展、コレクション展、カフェ、ミュージアムショップ等)をご利用の方は、地図の駐車場を割引いたします。駐車券を当館受付にご提示ください。



長崎県美術館
 長崎市長崎市出島町2番1号 〒850-0862
 Tel.095-933-2110 www.nagasaki-museum.jp